



柳生家の居城跡に石段・堀割など城の名残をとどめる芳徳禅寺



左から柳生宗冬、宗矩、三厳(十兵衛)の墓。周囲に約80基

② 旧柳生藩家老屋敷

幕末の柳生藩の財政立て直しを成功させた家老小山田主鈴の屋敷跡。作家山岡荘八氏が、NHK大河ドラマ『春の坂道』(昭和46年放映)の構想を練った場所で、昭和55年奈良市に寄贈され、資料の一部が公開。

☎ 0742-94-0002 (柳生観光協会)
📍 奈良市柳生町155-1
🕒 9:00~17:00 (入場~16:30)
👤 年末年始(12/27~1/5)
🎫 大人350円、小人170円



柳生宗矩から徳川將軍家の兵法指南役に大抜擢され、武道面から江戸時代の礎を築いたと言っても過言ではない柳生一族。柳生の自慢そのもの。

柳生観光協会 事務局長の岡田洋さん



“活人剣”という柳生新陰流の考え方は、現在に通じる。当時、全国から約13,600人の門下生が柳生の地に集まったことはすごいこと!

木刀を使用し、けがが多かった当時、新陰流の稽古は築竹刀(竹を製し、かぶせ弾力のある竹刀)を使用するなど工夫されていた!



橋本紹尚住職

walking map
●歩行距離 約7km
●歩行時間 約2時間
※地図内の時間表記は前地点からの到着時間

交通案内 access
往路:近鉄・JR奈良駅からバスで「柳生」下車
復路:バス停「柳生上」から近鉄・JR奈良駅下車

忍術学院柳生道場
土・日に忍者体験可
☎ 06-6974-1186 (要予約)

③ 芳徳禅寺・柳生家の墓

柳生家の菩提寺。寛永15年(1638年)柳生但馬守宗矩が、亡父石舟斎宗徹の供養のために創建した。開山は沢庵和尚で、当山第一世は宗矩の末っ子の列堂和尚義仙。資料室は必見。

☎ 0742-94-0204
📍 奈良市柳生下町445
🕒 9:00~16:30
👤 無休
🎫 大人200円

④ 正木坂剣禅道場 (柳生ロマンの里博物館)

柳生新陰流の精神「剣禅一如」に通じる剣道と座禅の道場。昭和40年、当時の芳徳禅寺住職・橋本定芳氏により建立された。タイミングが合えば、館長であり現住職の橋本紹尚氏から剣の話が聞けるかも。



☎ 0742-94-0204 (芳徳禅寺)



⑤ 菌床椎茸きのこTei (柳生ロマンの里博物館)

夏頃まで柳生共同製茶組合の深蒸し茶の製造過程、または抹茶になる前の碾茶製造の工場で見学可。6月下旬からまるやかな味わいが特徴の深蒸し茶の新茶(648円/90g入り)が直接購入できる。



永井史子さん



⑥ 朴葉すし 久保田亭 (柳生ロマンの里博物館)

柳生生まれ柳生育ちの一美さんが作る柳生の郷土料理「朴葉すし」。酢飯の上にフキの佃煮やシャケの酢漬、紅しょうがなど5品を載せ、大きな朴の木の葉で包んだ素朴な味わいが、クセになりそう。



久保田一美さん

Memo

柳生ロマンの里 博物館
従来の博物館とは異なり、地域の人が仕事場などを公開して伝統の技や文化を伝える取り組み。地元柳生焼きなどの体験もできる。事前の予約が必要。

柳生焼窯元 井倉柳生堂
柳生十兵衛の祖馬春桃御前が、馬頭観音を焼いたことに始まる。柳生の土と植物灰の釉薬を使い、還元炎でじっくりと焼く、辰砂の鮮やかな紅色が特徴。展示品の見学自由。体験可。

柳生家の墓 芳徳禅寺
柳生宗廟が修行中に襲ってきた天狗を切り捨てたところ、巨石が半分に割れていたと伝わる。奥から天狗(置物)が見えているよ

正木坂剣禅道場
柳生新陰流の精神「剣禅一如」に通じる剣道と座禅の道場。

きのこTei
夏頃まで柳生共同製茶組合の深蒸し茶の製造過程、または抹茶になる前の碾茶製造の工場で見学可。

柳生焼窯元 井倉柳生堂
柳生十兵衛の祖母春桃御前が、馬頭観音を焼いたことに始まる。柳生の土と植物灰の釉薬を使い、還元炎でじっくりと焼く、辰砂の鮮やかな紅色が特徴。展示品の見学自由。体験可。

柳生焼窯元 井倉柳生堂
柳生十兵衛の祖母春桃御前が、馬頭観音を焼いたことに始まる。柳生の土と植物灰の釉薬を使い、還元炎でじっくりと焼く、辰砂の鮮やかな紅色が特徴。展示品の見学自由。体験可。

きのこTei
夏頃まで柳生共同製茶組合の深蒸し茶の製造過程、または抹茶になる前の碾茶製造の工場で見学可。



十兵衛杉を望む(柳生十兵衛三厳が剣の修行に出発する際に先祖の墓参りをして植えた木と伝わる。落雷により枯れた)

PART.38
うおーきんぐ
Walking
2014.7

柳生ロマンの里博物館を巡り
剣聖の里「柳生」を体感ウオーク!

剣術・柳生新陰流の聖地へ。この静かな山あいの里には、柳生一族の面影が随所に残る。訪ね歩きながら「剣は人を斬るに非ず、人を活かすにあり」と説いた剣術や、徳川將軍家の師範であり家臣ではないという姿勢を貫いた誇りに触れるたび、変革する現在にこそ必要な生き方にも思え、静かな感動を覚える。さらに、地域で取り組む「柳生ロマンの里博物館」を巡れば、楽しさもUP♪



柳生宗廟が修行中に襲ってきた天狗を切り捨てたところ、巨石が半分に割れていたと伝わる。奥から天狗(置物)が見えているよ



窯元親子の作品、柳生焼き(手前と青磁・白磁が展示)



柳生焼窯元三代目の井倉敏夫さん(左)と息子の幸太郎さん



剣豪気分になれるね!



柳生但馬守宗矩